



(限 内)

海軍公報 (部内限) 第三千九百三十號

昭和十六年十月二十七日(月)
海軍大臣官房

○令 達

官房第五三三號 昭和十七年官房第五三三號
岡山縣岡山市ニ吳海軍軍需部被服裁縫作業所ヲ置キ之
ヲ吳海軍軍需部岡山作業所ト呼稱ス
昭和十六年十月十日
海軍大臣

官房第五四九七號ノ二
表彰内規左ノ通改正ス
昭和十六年十月二十七日
海軍大臣

海軍表彰内規

一 海軍軍事ニ盡瘁シ功績顯著ナル海軍軍人、軍屬、
工員、鑛員、部外官吏其ノ他ノ者ノ表彰ハ特ニ定
ムルモノヲ除クノ外本内規ニ依ル
二 被表彰者
(イ) 職責遂行上全軍ノ模範タルベキ者又ハ警備、演

- (ロ) 習、訓練等ニ於テ危難ヲ顧ミズ剛膽不撓克ク其ノ
任務ヲ遂グ以テ全軍ノ模範タルベキ者
 - (ハ) 艦船、航空機等遭難ノ際救助作業ニ從事シ功績
顯著ナル者
 - (ニ) 海軍志願兵徵募又ハ召集ノ事務等ニ關シ連年特
ニ優良ノ成績ヲ舉ゲタル者
 - (ホ) 多年海軍軍事思想ノ普及ニ助力貢獻シ又ハ軍事
扶助後援ノ事業ニ盡瘁シ成果特ニ顯著ナル者
 - (ヘ) 特別善行章ヲ授與セラルルコト三回以上ニ達シ
タル者
 - (ト) 海軍軍事ニ關シ有益ナル作業、調査又ハ著述ヲ
爲シ功績顯著ナル者又ハ發明、考案、研究等ニ關
シ海軍技術有功章令ニ依ル海軍技術徽章授與ノ程
度ニ至ラザルモ其ノ功績顯著ナル者
 - (ト) 其ノ他海軍軍事ニ關シ特ニ功績顯著ナル者
- 三 表彰手續
所屬長官ハ其ノ部下又ハ所管海軍志願兵徵募區、海
軍區、警備區、行動海面等ニ於テ表彰至當ト認ムル

海軍公報(部内限) 第三千九百三十號 昭和十六年十月二十七日

一四一九

0411

者アルトキハ毎年十二月末日迄ニ、又特ニ臨時表彰
至當ト認ムル者アルトキハ其ノ都度功績ノ内容ヲ詳
記シ之ニ意見ヲ附シ海軍大臣ニ具申スベシ

四 表彰時期 毎年會計年度末トス但シ臨時表彰ノ必要アルトキハ
其ノ都度之ヲ行フ

五 表彰法

(イ) 表彰狀ヲ授與スルノ外金杯、銀杯、木杯又ハ賞
金ヲ授與スルモノトス但シ表彰狀ノミヲ授與スル
コトアリ

當分ノ間金杯、銀杯ニ代フルニ之ニ相當スル賞品
ヲ以テス

(ロ) 表彰スベキモノ團體、船舶等ナルトキハ表彰狀
ヲ授與スルヲ例トス

○ 通牒

官房第五四一九號ノ二

昭和十六年十月二十七日

海軍諸例
則登錄

海軍省 副官

各廳長 殿

臨時郵便取縮令ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ本年十月十五日官房第五四一九號
通牒ノ通ナル處同號(別紙)外郵第二二三八號中軍機
上差出部隊等ノ所在地名稱ヲ明記シ難キモノハ從來ノ
例ニ依リ處理スル件ハ艦船部隊乗員等ヨリ發スル私信
ヲモ含ム遞信省ノ解釋ニ有之候條了知相成度

○ 辭令

(各通)

氣象技師 淵 秀隆
氣象技師 草野 和夫
同 熊戶 時男

南遣艦隊司令部附ヲ命ス(計訪海軍省)

松井 康七郎

海軍艦隊豫備學生(整備科)ヲ免ス(計訪同)

海軍技師 伊東 友彦

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(計訪海軍航空
本部)

○ 雜款

○ 將旗移揚

舞鶴防備戰隊司令官ハ十月二十日將旗ヲ山東丸ニ移揚セリ

○司令驅逐艦一時變更
第十六驅逐隊司令ハ十月十九日司令驅逐艦ヲ一時雪風ヨリ時津風ニ變更セリ

○司令潜水艦復歸
第七潜水隊司令ハ十月十九日司令潜水艦ヲ伊號第三潜水艦ヨリ伊號第二潜水艦ニ復歸セリ

○司令艇指定
第六十六驅潛隊司令ハ十月十五日司令艇ヲ文丸ニ指定セリ

○郵便物發送先
當隊ハ來ル十一月一日ヨリ當分ノ間霞ヶ浦海軍航空隊ニ移轉スルニ付同日以降當隊宛書類ハ左記ヘ發送相成度

茨城縣稻敷郡阿見村

霞ヶ浦海軍航空隊氣付

霞ヶ浦海軍航空隊名古屋分遣隊

(霞ヶ浦海軍航空隊名古屋分遣隊)

當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

記

司令、隊宛
隊機關長、軍醫長宛
主計長宛
第七玉丸
多摩丸
大井丸
(第三十二掃海隊)

當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

司令宛
機關長宛
主計長宛
軍醫長宛
初雁
千鳥
友鶴
真鶴
(第二十一水雷隊)

當部宛郵便物ハ自今「横須賀郵便局氣付五〇八八」ト表記相成度

(第四港務部)

○書類發送先
當隊分離行動中ニ付書類發送ハ左記ニ依ル外各艦ノ分ハ直送相成度
追テ隊司令宛ノモノニシテ各艦ヘモ關係アルモノハ寫ヲ直接各艦ヘ送付相成度

記

隊、司令、軍醫長宛
隊機關長宛
時津風
雪風

主計長宛

初風
(第十六驅逐隊)

當隊宛書類ハ自今左記ニ依リ發送相成度

記

司令宛

隊機關長、主計長宛

軍醫長宛

神風
波風
野風
(第一驅逐隊)

○書類發送先等ニ關スル件

當部ハ昭和十四年十一月十五日上海港務部ト改稱、同日別ニ第一港務部ヲ設置セラレタル處今尙當部宛書類ヲ第一港務部ト誤記シ又ハ第一港務部ニ轉勤セシムベキ兵員ヲ當部ニ送致セラルル等上海港務部ト第一港務部ヲ混同セラルル向々有之候條書類發送竝ニ兵員轉勤等ニ際シテハ特ニ御留意相成度

(上海港務部)

○速達郵便料金ニ關スル件

當隊ハ長崎縣東彼杵郡大村町竹松ニシテ郵便區市外地ニ付速達郵便料金三十錢ヲ要シ候ニ付郵便物發送ノ際ハ留意相成度

(大村海軍航空隊)

○開隊
臺南海軍航空隊十月一日左記ニ開隊ス

臺灣
臺南市鞍子(下車驛 臺南驛)
電話臺南 一五九一番

○事務所撤去

第四港務部準備委員事務所ヲ十月五日撤去セリ

夕雲艦裝員事務所ヲ十月十六日撤去セリ

津輕艦裝員事務所ヲ十月二十三日撤去セリ

○特務艦野島行動豫定(變更)

地名

着

發

佐世保

吳須賀

大湊

函館

橫須賀

吳須賀

舞鶴

佐世保

十月二十日

十月二十三日

十月二十七日

十月二十八日

十一月一日

十一月七日

十一月十四日

十月十八日

十月二十一日

十月二十四日

十月二十八日

十一月四日

十一月八日

十一月十二日

0414

○艦船所在

▲印(ハハシ)
指定ヲ要セズ

十月二十七日午前十時

【横須賀】春日▲、劍埼▲、山城▲、神威▲、高雄、戸多摩、

木曾、津輕
野分、舞風

鳩、鷺

伊二五

驅潜特五三▲

知床、石廊、尻矢

(伊三三)▲、(伊三七)▲

【長浦】驅潜一五、驅潜二三、驅潜一四、驅潜三三

哨一▲

【横濱】國後

(筑紫)▲

浦賀

(風雲)▲

【館山】深風

沖風

哨三四、哨三五

【吳】淺間▲、八雲▲、鳳翔、千代田、初鷹

伊一、伊三、伊二〇、伊一八、伊二二、

伊三、伊五五七▲、呂五八▲、呂五九、伊五二、

伊五三▲、伊五四、伊五五▲、伊五六、伊五六

伊六六、掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

伊六六、掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

驅潜八、驅潜七、驅潜九、驅潜一九、

驅潜二〇、驅潜二二

【大阪】

哨四六▲、哨三三

佐多、樫野、開宮、攝津

(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲

矢風

(驅潜二四)

【神戸】(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊三一)▲、(伊四一)▲

(伊一)▲、(秋津洲)▲

【相生】(驅潜三三)▲、(若鷹)▲

吾妻▲、利根、筑摩

薄雲▲

【相模】初雁、友鶴、千鳥、真鶴

哨三七▲

鶴見、室戸

(夕雲)▲、(秋月)▲

【佐世保】北上、足柄、長鯨、長良、球磨

望月、望月、如月、彌生、文月、皐月、

長月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三四▲、呂三三▲

呂六〇、伊五九▲、伊六〇▲、伊二四、

伊二三

驅潜一、驅潜特五一▲

哨三、哨三九、哨三八

敷島▲

(阿賀野)▲、(伊二四)▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲

(伊四三)▲

【長崎】驅潜特五二▲

【鎮海】芙蓉、朝顔、峯風、刈萱

【作業地】出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、

海軍公報(部内限)第三千九百三十號

昭和十六年十月二十七日

一四二三

0415

鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、名取、長門、陸奥、嵯峨、橋立、磐手、香椎、古守、日向、伊勢、比叡、霧島、古鷹、大鯨、香取、扶桑、金剛、榛名、青葉、衣笠、加古、川内、龍驤、千歲、瑞穂、摩耶、愛宕、鳥海、妙高、羽黑、那智、熊野、三隈、最上、鈴谷、那珂、鹿島、飛龍、白鷹、蒼鷹、天龍、龍田、夕張、迅鯨、勝利、駒橋、沖島、常磐、阿武隈、能登呂、五十鈴、赤城、加賀、神通、翔鶴、鬼怒、山良、嚴島、八重山、瑞鶴、石垣、大井、瑞鳳、神風、沼風、波風、野風、村雨、春雨、五月雨、夕立、沙風、帆風、春風、松風、朝風、旗風、大潮、荒潮、朝潮、滿潮、朝雲、峯雲、山雲、夏雲、初雪、白雪、吹雪、白雲、東雲、叢雲、綾波、磯波、敷波、浦波、狹霧、夕霧、天霧、朝霧、若葉、初霜、子日、初春、水無月、菊月、夕月、卯月、曉、響、電、栗、梅、蓮、臘、早潮、親潮、夏潮、黑潮、時津風、初風、天津風、不知火、霞、陽炎、霞、谷風、浦風、濱風、磯風、追風、朝風、疾風、夕風、白露、夕暮、時雨、曙、有明、嵐、萩風、雷、海風、江風、山風、涼風、夕風、秋雲、三日月、秋風、太刀風、羽風、隼、鴻、鶴、鴨、雉、雁

【航海中】

襟裳 野島 蒼龍 八丈 驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、驅潛一三、驅潛一四、驅潛一五、驅潛一六、驅潛一七、驅潛一八、宗谷、朝日、明石、大泊、隱戶、早鞆

(二十三) 日橫濱發一德山へ
 (二十四) 日橫須賀發一太湊へ
 (二十四) 日橫須賀發一作業地へ
 (二十六) 日舞鶴發一太湊へ
 (二十六) 日舞鶴發一吳へ
 (二十六) 日舞鶴發一作業地へ

呂六二、呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、呂六八、呂六三、呂六四、伊二、伊六、伊四、伊五、伊七、伊八、伊九、伊一五、伊一六、伊一七、伊一九、伊二二、伊二三、伊六五、伊五七、伊五六、伊六四、伊六一、伊六二、伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、伊一二三、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一七、掃一八

0416

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千九百三十一號

昭和十六年十月二十八日(火)

海軍大臣官房

○令 達

官房第五五九七號

當分ノ間海軍航空本部造兵監督官ハ本務ノ外内國註文
造船造兵工事物件監督検査委託規程ニ準ジ海軍各應
リ部外工場ヘ註文ノ自動車ノ監督検査ニ從

昭和十六年十月二十七日

海軍大臣

海軍諸例
則登錄

○通 牒

海人第一號ノ一五七

昭和十六年十月二十八日

海軍省人事局長

係廳長殿

特殊任用進級ノ取扱ニ關スル件申進

當分ノ間大正九年海人第五二號ニ依ル特殊任用進級該
當者ハ既ニ行賞セラレタル者モ同號ノ手續ヲ行フコト

海軍公報(部内限)第三千九百三十一號 昭和十六年十月二十八日

一四二五

ト了知相成度

○辭 令

軍令部出仕海軍少佐 檜野 武良
第一部勤務ヲ命ス(附海軍令部)

第三課勤務ヲ命ス 海軍中佐 今村了之介

第一課勤務ヲ命ス 海軍少佐 吉富 寛二

海軍中佐 山田 武次

同 大石 新一

海軍少佐 前川 萬衛

海軍機關中佐 佐々木 正雄

海軍軍醫中佐 福原 文雄

海軍藥劑大佐 村 田 秀

海軍主計大佐 川島 經裕

海軍主計中佐 熊谷 善男

同 井関 重衛

(各通)

海軍主計大尉 池田 正男
海軍造兵中佐 山本 尙義

第二課勤務ヲ命ス(以上^{付前}海軍省兵備局)

海軍少佐 大塚 昌三

第二部第三課兼第五課勤務ヲ命ス

海軍特務大尉 川西 三郎

第三部第七課勤務ヲ命ス(以上^{付前}水路部)

○ 雜 款

○ 將旗移揚

第三遣支艦隊司令長官ハ十月二十四日將旗ヲ陸上應會ヨリ磐手ニ移揚セリ

○ 旗艦變更

第一航空艦隊司令長官ハ十月二十五日旗艦ヲ赤城ニ變更セリ

○ 將旗復歸

第三戰隊司令官ハ十月二十二日將旗ヲ比叡ニ復歸セリ

○ 司令艇指定

第五十四驅潛隊司令ハ十月十五日司令驅潛艇ヲ長良丸

ニ指定セリ

○ 郵便物發送先

海軍塚原部隊司令部宛(固有名第十一航空艦隊司令部)
自今 臺灣高雄州岡山郡彌陀庄
高雄海軍航空隊内

海軍多田部隊司令部宛(固有名第二十一航空艦隊司令部)
十一月六日迄ニ到達見込ノモノハ 從前通
其ノ後ハ 臺灣臺南州新豐郡
臺南海軍航空隊内

海軍荒木部隊宛(固有名第一航空隊)
自今 佐世保郵便局經由
第七海軍軍用郵便所氣付(軍事郵便)

海軍松貞部隊司令部(固有名第二十二航空戰隊司令部)
十月三十日迄ニ到達見込ノモノハ 從前通
其ノ後ハ 佐世保郵便局經由
第七海軍軍用郵便所氣付(軍事郵便)

海軍近藤部隊宛(固有名美幌海軍航空隊)
同隊通知ノ通(十月十五日海軍公報部内限參照)

海軍近藤部隊宛(固有名美幌海軍航空隊)
同隊通知ノ通(十月十五日海軍公報部内限參照)

0418

海軍竹中部隊司令部宛（固有第二十三航空戰隊司令部）海軍伊藤部隊（固有高雄海軍航空隊）海軍齋藤部隊（固有臺南海軍航空隊）海軍三浦部隊宛（固有東港海軍航空隊）
從前通

海軍龜井部隊宛（固有第三航空隊）

自今

臺灣高雄州岡山郡彌陀庄

高雄海軍航空隊内

備考

- 一、司令部ヲ除ク航空隊宛送付セラルル書類ニシテ殘留部隊ニ關係アル公報類、練習生採用試驗問題等ハ別個ニ殘留部隊ヘモ送付セラレ度
- 二、航空郵便ハ臺北駐在海軍武官府氣付トナスコト
- 三、本通知以後各部ヨリ通知ノ分ハ爾後同通知ニ依リ處理ノコト
- 四、封書宛先ハ固有部隊名ヲ使用セザル様注意セシメラレ度

當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

司令、隊機關長、隊宛 朝雲
主計長宛 夏雲
軍醫長宛 山雲

（第九驅逐隊）

○事務所設置
第二十三號驅潛艇裝員事務所ヲ十月二十四日播磨造船所内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○内南洋方面輸送機利用部内旅行者心得
内南洋方面輸送機利用旅行者ハ左記ニ依ラレ度

一、第四艦隊輸送機便乗者心得
便乗者ハ左ノ手續ニ依ルヲ要ス

區	分		便乘申請處	出發基地
	内地ヨリ	南洋ヨリ		
第輸送機	内地ヨリ	南洋ヨリ	橫濱海軍航空隊	同上
艦隊	内地ヨリ	南洋ヨリ	各根據地隊司令部	内南洋各基地及第四艦隊泊地

- (イ) 内地及南洋間ノ輸送機便ハ當分ノ間毎十日一往復ノ程度ニテ運航シツツアリ
- (ロ) 便乗者ノ手荷物ハ一人十五瓦以内（中型「カバ」一個程度）トシ辨當ハ二食分ヲ要スル場合多シ（内地出發ノ場合ハ濱空副官ニ依頼スルヲ可トス）
- (ニ) 内南洋方面行濱空發送機便ハ早朝出發スルヲ以テ前夜濱空ニ宿泊スルヲ便トス
- (ホ) 内南洋方面行動中ノ艦船ノ所在ハ第四艦隊副官ニ問合スヲ便トス
- 二、日本空輸南洋線及南洋島内線利用者案内

海軍公報（部内限）第三千九百三十一號

昭和十六年十月二十八日

一四二七

0419

(イ)			(ロ)		
日航機利用者ハ左ノ手續ニ依ルヲ要ス	區分	申込(問合)應乗艇地	日航機	軍用	定期
内地ヨリ内	本總務部 横濱日航支所	最寄日航本社	内地ヨリ内 南洋間 内南洋ヨリ 内地行及内	内南洋ヨリ 内地行及内 南洋間	南洋行
南洋行		(支社)或ハ航			
内地ヨリ内		軍用定期ノ場 合ニ準ズルヲ			
南洋行		便トス			
					總務部(航本)
		横濱日航支所			南在武官府
		巴拉オ			五根司令部
		サイパン			四根司令部
		トラツク			四防支隊
		ポナベ			十九空(六根司令部)
		ジャポール			六根司令部
		(ヤールト)			クエゼリン本島

○特務艦野島行動豫定

(ロ) 手荷物ノ制限ハ軍用機ノ場合ニ同ジ 食事ハ日航ヨリ提供ス

(第四艦隊)

地名	着	發
佐世保	十一月十八日	十一月十八日
西戸崎	十一月十八日	十一月十八日
吳須賀	十二月三日	十二月三日
横須賀	十二月三日	十二月三日
吳世保	十二月五日	十二月五日
吳地	十月二十五日	十月二十八日
舞鶴	十月二十九日	十一月三日
佐世保	十一月一日	十一月四日
吳地	十一月五日	十一月九日
○特設運送船辰鳳丸行動豫定		
吳地	十月二十七日	十月二十九日
佐世保	十月三十日	十一月一日
長崎	十一月二日	十一月四日
吳戸	十一月五日	十一月七日
大坂	十一月七日	十一月九日
横須賀	十一月九日	十一月十一日
吳須賀	十一月十三日	十一月十五日
○徴備船山霜丸行動豫定		
吳地	十月二十七日	十月二十九日
佐世保	十月三十日	十一月一日
長崎	十一月二日	十一月四日
吳戸	十一月五日	十一月七日
大坂	十一月七日	十一月九日
横須賀	十一月九日	十一月十一日
吳須賀	十一月十三日	十一月十五日

0420

○ 艦船所在

▲印ハ「ハカ」ノ指定ヲ要セズ

十月二十八日午前十時

【横須賀】

春日▲ 劍埼▲ 山城▲ 神威、高雄、

津輕

野分、舞風

伊二五

驅潛特五三▲

知床、尻矢

(伊三)▲ (伊三七)▲

【長浦】

驅潛二五、驅潛二三、驅潛二四、驅潛三三

哨一▲

【横濱】

國後

【浦賀】

(筑紫)▲

湖、漣

(風雲)▲

【館山】

沖風、波風、野風

【大湊】

野島

哨三四、哨三五

【吳】

淺間▲ 八雲▲ 鳳翔、千代田、初鷹

若竹、吳竹、早苗、雪風

伊一、伊三、伊二〇、伊一八、伊二三、

呂五七▲ 呂五八▲ 呂五九、伊五三、伊五三▲

伊五四、伊五五▲ 伊五八、伊五六

掃六、掃一、掃三、掃四、掃五

驅潛八、驅潛七、驅潛九、驅潛一九、

驅潛二〇、驅潛二二

【大 阪】

矢風

(驅潛二四)

(驅潛二四)▲ (伊一〇)▲ (伊三二)▲ (伊四二)▲

(伊一)▲ (秋津洲)▲

(驅潛三)▲ (若鷹)▲

吾妻

薄雲

初雁、友鶴、千鳥、真鶴

哨三七

鶴見、室戸

(夕雲)▲ (秋月)▲

北上、足柄、長鯨、長良、球磨

望月、睦月、如月、彌生、文月、阜月、

長月

呂三〇▲ 呂三一▲ 呂三三▲ 呂三四▲ 呂三三▲

呂六〇、伊五九▲ 伊六〇▲ 伊二四

伊二二、伊二三

驅潛二一、驅潛特五二▲

哨三、哨三九、哨三八

敷島▲

(阿賀野)▲ (伊二四)▲ (伊二九)▲ (伊三九)▲

(伊四三)▲

驅潛特五二▲

芙蓉、朝顔、峯風、刈萱

【鎮海】 驅潛特五二▲

【作業地】 出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、

【佐世保】

哨三七

鶴見、室戸

(夕雲)▲ (秋月)▲

北上、足柄、長鯨、長良、球磨

望月、睦月、如月、彌生、文月、阜月、

長月

呂三〇▲ 呂三一▲ 呂三三▲ 呂三四▲ 呂三三▲

呂六〇、伊五九▲ 伊六〇▲ 伊二四

伊二二、伊二三

驅潛二一、驅潛特五二▲

哨三、哨三九、哨三八

敷島▲

(阿賀野)▲ (伊二四)▲ (伊二九)▲ (伊三九)▲

(伊四三)▲

驅潛特五二▲

芙蓉、朝顔、峯風、刈萱

【鎮海】 驅潛特五二▲

【作業地】 出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、

0421

海軍公報(部内限)第三千九百五十一號 昭和十六年十月二十八日

一四二九

鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、名取、長門、陸奥、嵯峨、橋立、磐手、香椎、古守、日向、伊勢、比叡、霧島、古鷹、大鯨、香取、扶桑、金剛、榛名、青葉、衣笠、加古、川内、龍驤、千歲、瑞穂、摩耶、愛宕、島海、妙高、羽黑、那智、熊野、三隈、最上、鈴谷、那珂、利根、筑摩、鹿島、蒼龍、飛龍、白鷹、蒼鷹、矢龍、龍田、夕張、迅鯨、勝利、駒橋、沖島、常磐、阿武隈、能登呂、五十鈴、赤城、加賀、神通、翔鶴、鬼怒、由良、嚴島、八重山、瑞鶴、石垣、大井、瑞鳳、多摩、木曾、神風、沼風、村雨、春雨、五月雨、夕立、汐風、帆風、春風、松風、朝風、旗風、大潮、荒潮、朝潮、滿潮、朝雲、峯雲、山雲、夏雲、初雪、白雪、吹雪、白雲、東雲、叢雲、綾波、磯波、敷波、浦波、狹霧、夕霧、天霧、朝霧、若葉、初霜、子日、初春、水無月、菊月、早潮、親潮、夏潮、黑潮、時津風、初風、天津風、不知火、夜陽炎、霞、谷風、浦風、濱風、磯風、追風、朝風、疾風、夕風、白霧、夕暮、時雨、晴、有明、涼風、萩風、雷、海風、江風、山風、太刀風、羽風、秋風、三月月、秋風

【航海中】

襟裳 八丈 (二十三日横濱發—徳山へ)
 八丈 (二十六日舞鶴發—大湊へ)
 鳴戸 (二十六日舞鶴發—吳へ)
 石廊 (二十七日横須賀發—四日市へ)

軍、鴻、鶴、雉、雁、鳩、鷲、
 呂六二、呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、
 呂六八、呂六三、呂六四、伊二、伊六、
 伊四、伊五、伊七、伊八、伊九、伊一五、
 伊一六、伊一七、伊一九、伊二二、伊二三、
 伊二五、伊二七、伊二九、伊三〇、伊三一、
 伊三二、伊三三、伊三四、伊三五、伊三六、
 伊三七、伊三八、伊三九、伊四〇、伊四一、
 伊四二、伊四三、伊四四、伊四五、伊四六、
 伊四七、伊四八、伊四九、伊五〇、伊五一、
 伊五二、伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、
 伊五七、伊五八、伊五九、伊六〇、伊六一、
 伊六二、伊六三、伊六四、伊六五、伊六六、
 伊六七、伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、
 伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、伊七六、
 伊七七、伊七八、伊七九、伊八〇、伊八一、
 伊八二、伊八三、伊八四、伊八五、伊八六、
 伊八七、伊八八、伊八九、伊九〇、伊九一、
 伊九二、伊九三、伊九四、伊九五、伊九六、
 伊九七、伊九八、伊九九、伊一〇〇、
 驅潜一〇、驅潜二六、驅潜一七、驅潜一八、
 驅潜一、驅潜二、驅潜三、驅潜四、驅潜五、
 驅潜六、驅潜七、驅潜八、
 哨三、哨三、哨三六、
 宗谷、明石、大泊、隠戸、早鞆

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千九百三十二號

昭和十六年十月二十九日(水)

海軍大臣官房

○ 雜 款

○ 將旗移揚

大島根據地隊司令官ハ十月二十六日將旗ヲ大島根據地隊司令部ニ移揚セリ

第一遣支艦隊司令長官ハ十月二十七日將旗ヲ漢口方面特別根據地隊司令部ニ移揚セリ

○ 旗艦變更

第二航空戰隊司令官ハ十月二十六日旗艦ヲ若龍ニ變更セリ

○ 郵便物發送先

海軍岡野部隊宛
自今

横須賀郵便局氣付

○ 事務開始

第四港務部ハ十月十五日事務ヲ開始セリ

永興丸ハ十月二十日大阪市住吉區北加賀屋町三三五番地佐野安船渠株式會社内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○ 移轉

大井海軍航空隊(假稱) 設立準備事務所ヲ左記ニ移轉セリ

記

静岡縣榛原郡勝間田村大澤原(電話二二〇番)

追テ來隊者ハ東海道線金谷驛下車、同驛ヨリ乗合自動車便ニテ約三十分

(大井海軍航空隊(假稱) 設立準備委員長)

○ 特設運送船辰風丸行動豫定

地名

着

發

吳

十一月五日

十一月九日

横須賀

十一月七日

十一月十六日

神戶

十一月十八日

十一月十八日

大阪

十一月二十日

十一月十九日

吳

十一月二十日

十一月二十二日

○ 正誤

本月二十七日令達欄中「官房第五三三〇號」ハ「官房第五三三二〇號」ノ、同辭令欄中「海軍航空豫備學生(整備科)」ハ「海軍豫備學生(整備科)」ノ孰モ誤

海軍公報(部内限) 第三千九百三十二號

昭和十六年十月二十九日

一四三一

0423

○本日普通公報發行セズ

海軍公報(部内限) 第三千九百三十二號

昭和十六年十月二十九日

一四三二

0424

○ 艦船所在 (指定ヲ要セズ)

十月二十九日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、高雄、津輕野分、舞風

伊三五

驅潜特五三

知床、尻矢

(伊三)▲、(伊三七)▲

【長浦】

驅潜一五、驅潜二三、驅潜二四、驅潜三

【横濱】

國後

(筑紫)▲

【浦賀】

潮、漣

【館山】

風雲▲

【大湊】

八丈

【四日市】

石廊

淺間▲、八雲▲、鳳翔、千代田、初鷹

伊一、伊三、伊二〇、伊一八、伊二三、

伊五七▲、呂五八▲、呂五九、伊五三、伊五三▲

伊五四、伊五五▲、伊五八、伊五六

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

驅潜八、驅潜七、驅潜九、驅潜一九、

驅潜二〇、驅潜二一

【大阪】

日進▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲

【神戸】

(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊三一)▲、(伊四一)▲

【相生】

(秋津洲)▲、(若鷹)▲

【相模】

吾妻▲、薄雲▲、初雁、友鶴、千鳥、真鶴

【佐世保】

鶴見、室戸

(夕雲)▲、(秋月)▲

北上、足柄、長良

望月、睦月、如月、彌生、文月、卓月、

長月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三四▲、呂三三▲

呂六〇、伊五九▲、伊六〇▲、伊二四、

伊二二、伊二三

驅潜一一、驅潜特五一▲

哨二、哨三九、哨三八

敷島▲

(阿賀野)▲、(伊二四)▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲

(伊四三)▲

驅潜特五三▲

鎮海▲、芙蓉、朝顔、峯風、刈萱

作樂地▲、出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、

海軍公報(部内限) 第三千九百三十二號

昭和十六年十月二十九日

一四三三

0425

鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、名取、長門、陸奥、嵯峨、橋立、球磨、磐手、香椎、古守、日向、伊勢、比叡、霧島、古鷹、大鯨、香取、扶桑、金剛、榛名、青葉、衣笠、加古、川内、龍驤、千歲、瑞穂、愛宕、鳥海、妙高、羽黑、那智、熊野、三隈、最上、鈴谷、那珂、利根、筑摩、鹿島、蒼龍、飛龍、白鷹、蒼鷹、天龍、龍田、夕張、迅鯨、勝利、駒橋、沖島、常磐、阿武隈、能登呂、五十鈴、赤城、加賀、神通、翔鶴、鬼怒、由良、嚴島、八重山、瑞鶴、石垣、大井、瑞鳳、多摩、木曾、神威、神風、沼風、村雨、春雨、五月雨、夕立、沙風、帆風、春風、松風、朝風、旗風、大潮、荒潮、朝潮、滿潮、朝雲、峯雲、山雲、夏雲、初雪、白雪、吹雪、白雲、東雲、叢雲、綾波、敷波、浦波、狹霧、夕霧、天霧、朝霧、若葉、初霜、子日、初春、水無月、菊月、夕月、卯月、曉、響、電、栗、梅、蓮、朧、早潮、親潮、夏潮、黑潮、時津風、初風、天津風、不知火、霞、陽炎、霞、谷風、浦風、濱風、磯風、追風、朝風、疾風、夕風、白露、夕暮、時雨、曙、有明、涼風、萩風、雷、海風、江風、山風、太刀風、羽風、秋風、秋雲、三日月、秋風

【航海中】

襟裳 (二十三日横濱發—徳山—)
 摩耶 (二十八日作業地發—吳—)
 鳴戸 (二十八日吳發—佐伯—)

伊集、鴻、鶴、鴨、雁、鳩、鷺
 呂六二、呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、
 呂六八、呂六三、呂六四、伊二、伊六、
 伊四、伊五、伊七、伊八、伊九、伊一五、
 伊一六、伊一七、伊一九、伊二二、伊二三、
 伊六五、伊五七、伊五六、伊六四、伊六一、
 伊六二、伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、
 伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、伊二二、
 伊七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、
 掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一九、
 掃一七、掃一八
 驅潜一、驅潜二、驅潜四、驅潜三、驅潜五、
 驅潜六、驅潜二、驅潜一〇、驅潜一六、
 驅潜一七、驅潜一八
 哨三一、哨三二、哨三六
 宗谷、明石、大泊、隠戸、早鞆、野島

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十六年十月二十九日(水)
海軍大臣官房

○ 雜 款

○ 懲 罰

懲罰言渡書

海軍公報 (部内限) 號外

0427

海軍公報 (部内限) 號外

0428

海軍公報 (部内限) 號外

三

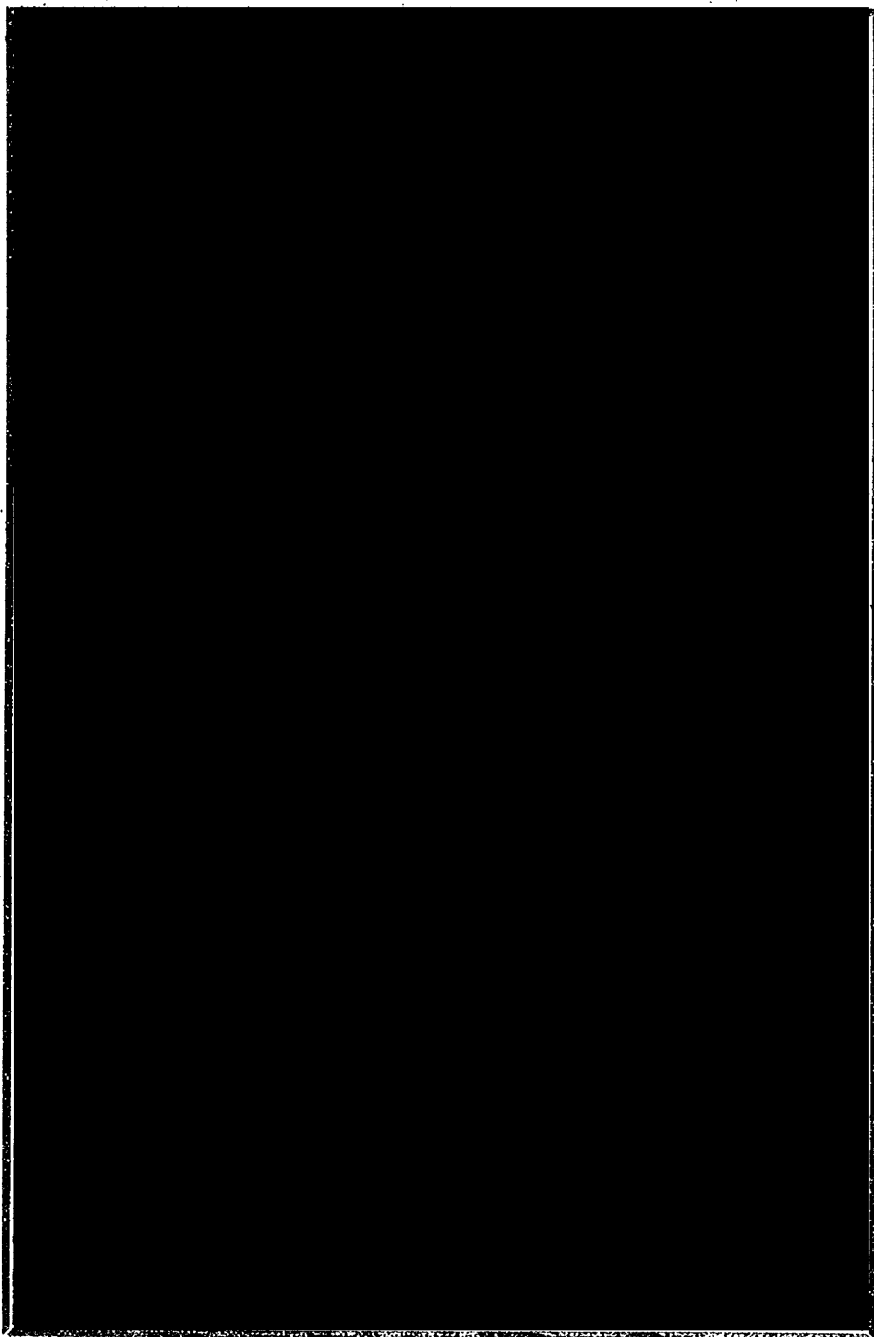
0429

海軍公報 (部内限) 號外

四

0430

海軍公報 (部内限) 號外



五

0431

海軍公報 (部内限) 號外

六

0432

海軍公報 (部内限) 號外

七

0433

海軍公報
(部内限)
號外

八

0434

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千九百三十三號

昭和十六年十月三十日(木)

海軍大臣官房

○ 通 牒

教育機密第二四五號

昭和十六年十月二十七日

海軍省教育局長

各艦隊參謀長
各鎮守府參謀長
各要港部參謀長
海南警備府參謀長

檢定授賞期日ニ關スル件通牒

昭和十六(教育)年度各種檢定ニ對スル授賞(優等章返納)期日ハ海軍檢定褒賞令施行規則ニ拘ラズ昭和十六年九月十四日ト定メラレ候條然ルベク取計相成度

航本機密第一一〇〇四號

昭和十六年十月二十九日

海軍航空本部總務部長

關係各廳長殿

機密圖書取扱ニ關スル件通知

海軍公報 (部内限) 第三千九百三十三號

昭和十六年十月三十日

一四三五

海軍航空技術廠發行ニ係ル試作機、同發動機關係竝ニ其ノ他實驗報告(軍極祕)ニシテ從來當部ヨリ配付致候モノニ就テハ今般其ノ原簿ヲ同廠へ移管致候條機密圖書取扱規則ニ據ル現有圖書竝其ノ處分通報ハ總テ同廠へ送付セラレ度
尙自今實驗報告(軍極祕、祕、普)要望ノ向ハ同廠へ要求相成度

○ 雜 款

○將旗移揚
第三遣支艦隊司令長官ハ十月二十八日將旗ヲ箸手ヨリ陸上廳舎ニ移揚セリ

○旗艦變更
第三艦隊司令長官ハ十月二十九日旗艦ヲ長良ヨリ足柄ニ變更セリ

○司令艇變更
第六十五驅潛隊司令ハ十月二十五日司令驅潛艇ヲ第七

0435

京丸ヨリ宇治丸ニ變更セリ

○司令艇一時變更

第三十一掃海隊司令ハ十月二十五日司令艇ヲ一時第七玉丸ヨリ第三拓南丸ニ變更同日復歸セリ

○郵便物發送先

當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

記

司令宛

隊機關長、軍醫長、主計長宛

(第三十四驅逐隊)

秋風

太刀風

○事務所設置

日進艦裝員事務所ヲ十月二十六日吳海軍工廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

追テ郵便物ハ左記ニ送付相成度

記

廣島縣吳市

吳海軍工廠日進艦裝員事務所

○正誤

○

本月二十日通牒欄官房機密第八九九三號中「後來ノ航空兵器供給所名稱」ハ「從來ノ航空兵器供給所名稱」ノ誤

海軍少佐從六位橋爪櫻鯉十月二十四日飛行訓練中遭難同二十五日殉職、同月二十七日軍艦瑞穂ニテ佛式ニ依リ海軍葬儀執行セリ

0436

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ
指定ヲ要セズ

十月三十日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍埼▲、山城▲、高雄、津輕
野分、舞風

▷伊七

驅潜特五三▲

知床、尻矢

【長浦】

驅潜三▲、(伊三七)▲

【横濱】

國後▲

【浦賀】

磯▲、潮▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

八丈、沖風、波風、野風、
哨三四、哨三五

【四日市】

石廊、淺間▲、八雲▲、千代田、初鷹

【吳】

若竹、吳竹、早苗、雪風

伊一、伊三、伊二〇、伊一八、伊三三、
呂五七▲、呂五八▲、呂五九、伊五二、伊五三▲、
伊五四、伊五五▲、伊五六、伊六六

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

驅潜八、驅潜七、驅潜九、驅潜一九、
驅潜二〇、驅潜二二

【大阪】

驅潜二四▲

【神戸】

伊良湖▲、(伊一〇)▲、(伊三二)▲、(伊四二)▲、
伊一一▲、(秋津洲)▲

【相生】

驅潜三三▲、(若鷹)▲

【佐伯】

鳴戸

【舞鶴】

吾妻▲、薄雲▲、
初雁、友鶴、千鳥、真鶴

【佐世保】

哨三七▲、鶴見、室戸

(夕雲)▲、(秋月)▲、北上、殿島、八重山

望月、陸月、如月、彌生、文月、皐月、
長月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三四▲、
呂三五▲、呂六〇、伊五九▲

驅潜一五、驅潜二三、驅潜一四、驅潜一一、
哨三九、哨三八

敷島▲、(阿賀野)▲、(伊二四)▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲、
(伊四三)▲

【長崎】

驅潜特五二▲

海軍公報(部内限)第三千九百三十三號

昭和十六年十月三十日

一四三七

0437

〔鎮海〕 櫻野
 〔出雲〕 朝顔、峯風、刈萱
 〔長門〕 宇治、安宅、二見、伏見、比良
 〔熱海〕 鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田
 〔名取〕 長柄、磐手、香椎、占守
 〔日向〕 伊勢、比叡、霧島、古鷹、大鯨
 〔香取〕 扶桑、金剛、榛名、青葉、衣笠
 〔加古〕 扶桑、龍驤、千歲、瑞穂
 〔愛宕〕 鳥海、妙高、羽黑、那智、熊野
 〔三隈〕 最上、鈴谷、那珂、利根、筑摩
 〔鹿島〕 蒼龍、飛龍、白鷹、蒼鷹、天龍
 〔龍田〕 夕張、迅鯨、勝利、駒橋
 〔沖島〕 常磐、阿武隈、能登呂、五十鈴
 〔長鯨〕 赤城、加賀、神通、翔鶴
 〔鬼怒〕 由良、瑞鶴、石垣、大井、瑞鳳
 〔多摩〕 木曾、神威、鳳翔
 〔神風〕 沼風、村雨、春雨、五月雨、夕立
 〔汐風〕 帆風、春風、松風、朝風、旗風
 〔大湖〕 荒潮、朝潮、滿潮、朝雲、峯雲
 〔山雲〕 夏雲、初雪、白雪、吹雪、白雲
 〔東雲〕 叢雲、綾波、敷波、浦波
 〔夕霧〕 狹霧、天霧、朝霧、若葉、初霜
 〔子日〕 初春、水無月、菊月、夕月、卯月
 〔曉響〕 電、栗、梅、蓮、臘、早潮
 〔親潮〕 夏潮、黑潮、時津風、初風
 〔天津風〕 不知火、霞、陽炎、霞、谷風
 〔浦風〕 浪風、磯風、追風、朝風、疾風

夕風、白露、夕暮、時雨、曙、有明
 外風、秋雲、三月月、秋風、太刀風、羽風
 隼、鴻、鵠、鴨、雌、雁、鳩、鷺
 呂六二、呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、
 呂六八、呂六三、呂六四、伊三、伊六、
 伊四、伊五、伊八、伊九、伊一五、伊一六、
 伊一七、伊一九、伊二二、伊二三、伊二五、
 伊五七、伊五六、伊六四、伊六一、伊六二、
 伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、
 伊七三、伊七四、伊七五、伊二四、
 伊一二、伊二三、伊二二
 掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、
 掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一九、
 掃一七、掃一八
 驅潛一、驅潛二、驅潛四、驅潛三、驅潛五、
 驅潛六、驅潛二下、驅潛一〇、驅潛一六、
 驅潛一七、驅潛一八
 哨二、哨三一、哨三二、哨三六
 宗谷、明石、隱戶

〔航海中〕

摩耶 (二十八日作業地發一吳)
 伊二五 (二十九日橫須賀發一作業地)
 早鞆、野島 (二十九日作業地發一橫須賀)
 大泊 (二十九日作業地發一大湊)

(限 部)



海軍公報

(部内限)第三千九百三十四號

昭和十六年十月三十一日(金)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第九〇九七號ノ三
特設運送船東榮丸ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ハ昭和十五年官房機密第七四四五號ノ五ニ拘ラズ横須賀海軍經理部部長ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和十六年十月十五日

海軍大臣

官房機密第一〇〇六九號
昭和十六年十月三十一日

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿

練習艦艇配當ノ件申改正ノ件訓令

昭和十五年官房機密第七四四三號別表中左ノ通改正ス
横須賀海軍砲術學校乃至横須賀海軍航空隊ノ項中

「山城」及「野分」ヲ削ル
「舞風」ヲ削ル

(昭和十五年十二月十五日海軍公報(部内限)参照)

○通 牒

官房第五六六五號

昭和十六年十月三十一日

海軍省副官

各 應 長 殿

海軍省兵備局ニ勞務班設置ノ件通知

首題ノ件今般左記ニ依リ設置セラレ候條了知相成度

記

一、海軍省兵備局第四課新設迄部内限ノ臨時措置トシ

テ海軍省兵備局ニ勞務班ヲ置ク

二、勞務班ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

イ 勞力ノ需給調整ニ關スルコト

ロ 國家總動員法ニ依ル徵用ニ關スルコト

海軍公報(部内限)第三千九百三十四號

昭和十六年十月三十一日

一四三九

0439

- (一) 勞務者ノ勞働條件、教育、思想善導、取締、救恤、福祉、福祉、勤勞組織其ノ他勞務ノ基本ニ關スルコト
- (二) 雇員及傭人ノ教育、思想善導、取締、救恤及福祉ニ關スルコト
- (ホ) 前各號ニ係ル規程及命令ニ關スルコト
- (ハ) 統計及年報材料ニ關スルコト
- 三、勞務班ニ班長及班員ヲ置ク

○ 辭 令

○昭和十六年十月十五日

海軍特務少尉	會倉 嘉明
海軍技師	今井 芳之助
同	奥野 良治
海軍教授	磯野 信雄
海軍書記	久保 文吉
海軍編修	田村 安二郎
同	宇野 俊郎
同	武井 達郎

敍正七位

同	海軍技師	中村 卓郎
同	同	能勢 孝教
同	同	元島 房松
同	同	沼館 興惣吉
同	同	横溝 竹次郎
同	同	村越 貞治
同	同	山崎 嘉美
同	同	有家 信治
同	同	才木 静馬
同	同	谷口 正勝
同	同	中馬 弘
同	同	鈴木 勇
同	同	廣野 英一
同	同	本間 光正
同	同	野村 大一郎
同	同	城至 成一
同	同	川畷 大惣
同	同	木村 久吾
同	同	吉光 佐太郎
同	同	三浦 正男
同	同	中本 開一

(各通)

同 熊澤 實
同 小野 弘平
同 山口 利貞
同 須賀 芳政
同 長谷川 知一
同 滿身 義男
同 坂梨 實
海軍編修 大關 隆文
海軍教授 鈴木 光雄
同 冨田 義視
海軍技師 小川 環
同 平林 初雄
同 栗田 滿
同 本間 四郎
同 平塚 英三郎
同 猿田 稔
同 工藤 慎三
同 原 實
同 木本 忠義
同 村井 五陸
同 木村 武夫

敍從七位

(各通)

敍正八位

同 民永 登
同 藤田 茂
同 仲井 繁二
同 三木 弘三
同 嶋崎 正二
同 石渡 松雄
同 三上 英
同 栗山 光雄
同 田村 勘次郎
海軍書記 野間 松吉
海軍錄事 山本 清一
海軍技手 原田 双一
同 野間 一良
海軍少尉 内海 通吉
同 上原 裕
海軍技術會議員海軍中佐 樋端 久利雄
海軍艦政本部技術會議員ヲ命ス(海軍省)
海軍軍醫大佐 川田 理
同 松見 茂雄

海軍公報(部内限)第三千九百三十四號

昭和十六年十月三十一日

一四四一

0441

(各通)

同	海軍軍醫中佐	福原文雄
同	清水繁良	
同	野方次郎	
同	海軍軍醫少佐	清原蕃卿
同	海軍藥劑大佐	村田秀
同	昭和十七年度海軍武官任用臨時委員ヲ命ス <small>(計十九名同)</small>	
同	海軍中佐	野間徹
同	海軍軍醫中佐	柿坂獵介
同	岸川兵次	
同	山岸俊雄	
同	秋山爲次	
同	村上倫吉	
同	藤井茂雄	
同	永山千代作	
同	守屋一男	
同	海軍軍醫少佐	有賀進
同	村上松壽	
同	占部進	
同	小川胤	
同	高木要翁	
同	芦原貞男	

(各通)

同	海軍軍醫大尉	池田選一
同	伊左次賢三	
同	宮崎五郎	
同	海軍主計大佐	中村貞助
同	吉川漁夫	
同	山本龜次	
同	早川貞吉	
同	桑原秀雄	
同	岡保三	
同	鈴木久	
同	宮本正光	
同	堤恭二	
同	島津惣次	
同	初見盈五郎	
同	青木大吉	
同	海軍主計中佐	加藤勲
同	出本鹿之助	
同	松尾佐一	
同	森寛	
同	善木豊	
同	吉田正敏	

0442

同 吉岡 清作
 同 增澤 英一
 海軍主計少佐 西森 茂吉
 同 岡部 正夫
 同 沼田 理二
 同 堀 俊藏
 同 幸崎 康雄
 同 佐野 俊男
 海軍主計大尉 田中 義夫
 昭和十七年度海軍武官任用臨時委員ヲ命ス(計同)

○ 雜 款

○司令驅逐艦一時變更
 第七驅逐隊司令ハ十月二十三日司令驅逐艦ヲ一時潮ヨリ漣ニ變更セリ

○書類發送先
 當隊宛書類ハ自今左記ニ依リ發送相成度

記
 隊、司令、隊機關長宛 雪 風
 軍醫長宛 時津風
 主計長宛 初 風

(第十六驅逐隊)

○事務所設置
 特設防衛班事務所ヲ十月二十日吳海兵團内ニ設置シ事務ヲ開始セリ
 追テ郵便物ハ左記ニ依リ送付相成度

第一防衛班宛 吳郵便局氣付

第二防衛班宛 同 同 吳海兵團内 鰐原機關中佐 村橋機關中佐

○各種練習生採用試験問題送付ノ件照會
 十月二十四日大井海軍航空隊(假稱)設立準備委員事務所ヲ左記ニ設置事務開始致候條各種練習生採用試験問題送付ヲ得度

記
 靜岡縣榛原郡勝間田村大字大澤原
 大井海軍航空隊(假稱)設立準備委員

○雜役船飛鳥ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ハ從來上海方面根據地隊主計長海軍少佐辻本賢造掌理シ居リタル處自今上海方面根據地隊主計長兼上海海軍特別陸戰隊主計長海軍主計中佐中島仁三良ヲシテ掌理セシム
 (支那方面艦隊司令長官)

○ 艦船所在

指▲印ハ「ハホ」ノ
指定ヲ要セズ

十月三十一日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、高雄、津輕
野分、舞風

伊七

驅潛特五三▲

知床、尻矢

伊三三▲、伊三七▲

【長浦】

驅潛三三

【横濱】

哨一▲

國後

【浦賀】

築紫▲

【館山】

風雲▲

【大湊】

八丈

【四日市】

沖風、波風、野風

【吳】

石廊

哨三四、哨三五

淺間▲、八雲▲、千代田、初鷹

若竹、吳竹、早苗、雪風

伊一、伊三、伊二〇、伊一八、伊三三、

伊五七▲、呂五八▲、呂五九、伊五二、伊五三▲、

伊五四、伊五五▲、伊五八、伊五六

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

驅潛八、驅潛七、驅潛九、驅潛一九、

驅潛二〇、驅潛二二

哨四六▲、哨三三

【大阪】

佐多、攝津、朝日、襟裳

日進▲、伊二七▲、伊三五▲、伊七六▲

【神戸】

驅潛二四

伊良湖▲、伊一〇▲、伊三三▲、伊四一▲

【相生】

伊一▲、秋津洲▲

【相玉】

驅潛三三▲、若鷹▲

【佐伯】

伊六〇▲

【舞鶴】

鳴戸

【佐世保】

吾妻▲

【大坂】

薄雲▲

【長崎】

初雁、友鶴、千鳥、真鶴

【鎮海】

哨三七▲

【鎮海】

哨三九、哨三八

【鎮海】

初雁、友鶴、千鳥、真鶴

【鎮海】

哨三七▲

【鎮海】

哨三九、哨三八

【鎮海】

初雁、友鶴、千鳥、真鶴

【鎮海】

哨三七▲

【鎮海】

哨三九、哨三八

【鎮海】

初雁、友鶴、千鳥、真鶴

【鎮海】

哨三七▲

0444

海軍公報(部内限) 第三千九百三十四號

昭和十六年十月三十一日

一四四五

